

2022年度・2023年度役員立候補者

2022年5月1日
公益社団法人日本診療放射線技師会
総会運営委員長 門田 敏秀

定款第27条ならびに役員選任規程に基づく2022年度・2023年度役員選任について、下記候補者の届出を受
理致しました。

記

理事候補者

地域理事候補者

北海道地域（定数1人）

とみ た のぶ お

富田 伸生 50歳

所属：（一社）北海道放射線技師会

- 勤 務 先：医療法人社団悠美会 南郷中央整形外科
- 最 終 学 歴：北海道大学医療技術短期大学部 診療放射線技術学科，独立行政法人大学評価・学位授与機
構（学士 保健衛生学）
- 本会役員歴：理事（2期：現職）
- 所信・抱負： このたび、地域理事として立候補致しました北海道放射線技師会の富田伸生です。

2010年度より北海道放射線技師会 理事・会長として12年間務めさせていただきました。また2011年からはJARTの教育委員幹事を拝命し、業務拡大に伴う統一講習会をはじめ基礎技術講習など、JARTの学術関連事業に携わり、さらに2018年度からは、JART地域理事としてJARTの取り組みを地域会員へ伝えるだけでなく、地域会員の声がJARTへ届くように活動してまいりました。

JARTが職能団体として診療放射線技師の現状をより明るい未来へ変えるために活動する上で、今、会員は何を求めているのか、何を悩んでいるのかといった会員の現状を把握し、方針を明確にしていく必要があります。

北海道地域理事として、会員の思いを受け止めるために可能な限り多くの会員と関わりを持ち、その声を生かして会員本位の会運営となるよう尽力したいと考え立候補致します。



東北地域（定数1人）

しんざと

まさかず

新里 昌一 63歳

所属：（公社）福島県診療放射線技師会

■勤務先：太田総合病院附属太田西ノ内病院

■最終学歴：東京電子専門学校

■所信・抱負： このたび、東北地域の各県会長から推薦を頂き、東北地域理事に初めて立候補となります公益社団法人福島県診療放射線技師会の新里昌一です。

2003年より県理事、副会長、会長を務めてまいりました。前任の船水地域理事から引き継いで、日放技の各取り組みを地域の会員の皆さまに伝え、地域の会員の生の声を日放技に届ける役割を果たしたいと思い立候補致しました。

日放技と東北地域の架け橋として努めていく所存です。理事会では、会長、副会長、各理事の皆さまに東北各県のいろいろな問題を提起させてもらい、助言やご指導を頂けるように致します。また互いに情報の共有化を図ることで、より良い技師会活動を展開できるように微力ながら努力致します。

よろしくお願い致します。

北関東地域（定数1人）

ごかん

たかゆき

後閑 隆之 59歳

所属：（一社）群馬県診療放射線技師会

■勤務先：医療法人瑞穂会 みさと診療所

■最終学歴：群馬県立福祉大学校 放射線学科

■所信・抱負： このたび、北関東地域の各県会長からのご推薦を頂き、2022年度・2023年度北関東地域理事に立候補致しました群馬県診療放射線技師会の後閑隆之です。2009年より群馬県診療放射線技師会の理事を務めさせていただき、現在は会長として県技師会の業務・運営に携わらせていただいております。

ここ数年、われわれ診療放射線技師を取り巻く環境が著しく変化してきており、会員の皆さまも大変ご苦労されていると存じます。こういった変遷の時代だからこそ、職能団体である日本診療放射線技師会が先頭に立ち、前に進んでいくことが重要であると考えます。その中で地域理事として、北関東各県との連携を図り、情報共有を密にすることにより、少しでも会員の皆さまのお役に立てればという思いから、今回、立候補させていただきました。

日本診療放射線技師会と各地方放射線技師会の発展のために、できる限りまい進していく所存です。皆さまのご支援、ご協力をお願い致します。



南関東地域（定数1人）

おおうち ゆきとし

大内 幸敏 58歳

所属：（公社）神奈川県放射線技師会

- 勤 務 先：川崎市立多摩病院（指定管理者：聖マリアンナ医科大学）
- 最 終 学 歴：駒沢短期大学 放射線科，学士（保健衛生学） 学位授与機構 乙第4975号
- 所 信 ・ 抱 負： 2022年度・2023年度の南関東地域理事に立候補致します，公益社団法人神奈川県放射線技師会の大内幸敏です。

神奈川県では理事10年，副会長2年，会長6年目として務めています。このたび，地域理事に立候補して，南関東地域の各都県診療放射線技師会の執行部および会員と日本診療放射線技師会と連携し，お互いの事業推進のため役割を果たしていきます。昨年度より告示研修が始まりましたが，受講しやすい環境を整備しながら，多くの診療放射線技師が参加できるよう取り組みたいと思います。

日本診療放射線技師会の公益法人としての役割には，国民に対しての公益事業がありますが，自分の知識や経験が少しでも役に立つよう事業推進に努力致します。

どうぞよろしくお願い致します。

中日本地域（定数1人）

かいげ なおゆき

界外 忠之 57歳

所属：（一社）三重県診療放射線技師会

- 勤 務 先：社会医療法人 畿内会 岡波総合病院
- 最 終 学 歴：行岡医学技術専門学校 放射線科，日本福祉大学 福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科
- 所 信 ・ 抱 負： このたび，中日本地域会長各位の全会一致による推挙を頂き，中日本地域理事に立候補させていただきます。界外忠之です。

県技師会役員歴としては，2006年から理事・副会長・会長として16年間務めさせていただいております。

県技師会会長としてのスローガンは「変革」を掲げ，県技師会事業内容のみならず理事会の下に各種専門委員会を新設するなど，県技師会組織体制そのものの改革も精力的に進めてきました。

私が思うに，JART地域理事には二つの立場の使い分けが必要です。一つは，地域会員の代表者として会員の思いや声をJARTに届けること。もう一つは，JARTの代理人として方針や企画を伝えるだけでなく，その裏にある狙いや思いを丁寧に説明し会員の理解と協力を得ることと理解しています。

地域理事に求められている役割を十分理解し，まさに会員とJARTのパイプ役となれるよう尽力する所存ですので，どうぞよろしくお願い致します。



近畿地域（定数1人）

ことう よしひろ
後藤 吉弘 56歳

所属：（公社）兵庫県放射線技師会

■勤務先：北播磨総合医療センター

■最終学歴：近畿医療技術専門学校（行岡医学技術専門学校 放射線科），学位授与機構 保健衛生学士

■所信・抱負：「改革・前進」，日本診療放射線技師会の発展と成長を目的とし，地域理事という立場で近畿地域の意見などを届け，さまざまな情報を地域に発信したいと思います。新型コロナウイルス感染症の拡大により，この2年間で会員の研修方法や価値観や働き方など，多くの変化が起きました。この変化は，過去にないスピードで改革を要求していると考えます。会としても次の時代を創る変革期を迎えていると思われま

す。直近では本年度，神戸コンベンションセンターで開催する第38回日本診療放射線技師学術大会を大会テーマ「革新への挑戦」とし，皆さまと協力し成功へと導きたいと考えています。

基本，行動こそ地域の活性と考え，放射線技師会自体の活力と考えています，告示研修を中心に働き方改革が進む中，われわれの業務が安全を担保し，地域協力し情報共有することで会の発展に尽力したいと思います。

中四国地域（定数1人）

きぐち まさお
木口 雅夫 57歳

所属：（公社）広島県診療放射線技師会

■勤務先：広島大学病院 診療支援部管理室

■最終学歴：岡山大学医学部附属診療放射線技師学校，学士（保健衛生学）学位授与機構 乙第12952号

■所信・抱負：このたび，中四国地域から推薦を頂き，中四国地域理事に立候補させていただきます木口雅夫です。

（公社）広島県診療放射線技師会では2020年から会長を拝命し，中四国地域では教育委員幹事を8年間努め，2015年から業務拡大に伴う統一講習会の積極的開催に取り組んできました。

中四国地域の代表として日本診療放射線技師会と連携を強化するとともに，地域の意見を日本診療放射線技師会に届けるよう尽力致します。また現在，本会が早期に推進するタスク・シフトや画像診断読影の補助などの事業や根幹となる被ばく，機器，情報管理，生涯学習などがスムーズに事業展開ができるようにし，診療放射線技師の発展や医療の資向上に向けて積極的に取り組みたいと思います。

ご存じの通り，日本診療放射線技師会と地域診療放射線技師会は車の両輪であり，どちらも除くことができない密接な関係です。会と会員の発展に尽力してまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。



九州地域（定数1人）

にしおの あきと

西小野 昭人 58歳

所属：（一社）熊本県放射線技師会

■ 勤 務 先：熊本赤十字病院

■ 最 終 学 歴：熊本大学医療技術短期大学部 診療放射線技術学科，学士（保健衛生学） 学位授与機構
学第28017号

■ 所信・抱負： このたび、地域理事として立候補させていただきました。昨今の診療放射線技師を取り巻く環境は目まぐるしく変化していますが、その中において、放射線技術の発展はもちろんのこと、診療放射線技師の地位の向上を図るためには、職能団体である日本診療放射線技師会の役割は非常に重要と考えています。私は熊本県放射線技師会理事として長年従事し、現在は3期目の会長職を執らせていただいています。また九州地域放射線技師会においても会長職を執り行い、九州地域の学術大会や研修会の活性化を図るために微力ながら尽力させていただいています。地域理事に就任することになれば、今までの経験を基に日本診療放射線技師会の動向を九州地域の会員の皆さまへ忠実に伝達し、速やかに会務を執行していけるよう努力していきたいと考えています。よろしくお願い致します。

会員外理事候補者（定数3人）

（受理順）

とよだ ながやす

1 豊田 長康 71歳

現住所：三重県

■ 勤 務 先：学校法人 鈴鹿医療科学大学

■ 最 終 学 歴：大阪大学 医学部，医学博士（三重大学）乙第227号

■ 本会役員歴：理事（4期：現職）

■ 所信・抱負： 近年の診療放射線技師が関与する医療技術の進歩は目覚ましく、チーム医療における診療放射線技師の果たすべき大きな役割が一層求められている状況です。貴技師会は、1947年の創立以来、最先端の医療技術の進歩に対応するべく会員の資質および地位の向上に精力的に取り組まれ、立派な実績を積み重ねてこられました。私が学長を務めさせていただいております鈴鹿医療科学大学は、貴技師会の甚大なるご協力の下に、診療放射線技師をはじめとする医療専門職のレベル向上を通して、人類の医療・福祉に貢献するという崇高な理念の下に1991年に創立された大学です。貴技師会と関係の深い成り立ちを持つ教育研究機関の長として、貴会と協力しつつ、貴会の発展のために会員外理事として尽力させていただく所存ですので、どうぞよろしくお願い致します。



2 すずき 鈴木 ぎこう 毅厚 48歳

現住所：三重県

- 勤 務 先：一般社団法人 日本救急救命士協会
- 最 終 学 歴：帝京平成大学大学院 健康情報科学研究科健康情報科学専攻 博士課程修了，帝京平成大学 博士（健康情報科学） 授与（帝大院課博第六号）
- 本会役員歴：理事（3期：現職）
- 所信・抱負：日本は，超高齢・多死社会で劇的に変わってきています。特に医療・福祉を取り巻く環境変化のスピードは，日々加速化しています。
これら諸問題の解決に向け，国は地域包括ケア，医師の働き方改革と施策を打ち出しスピードを上げて対応しています。特に少子高齢化に伴う生産人口減少，生産年齢の人々の仕事と育児・介護との両立，生産性の向上などの課題に対応するため，医療の現場ではタスク・シフト/タスク・シェアリングの推進が加速化しています。多職種が緊密に連携を図り，それぞれの専門領域の垣根を越えたケアを行う「チーム医療の推進」が必要不可欠です。
今般，会員外理事として立候補するに当たり，他職種である救急救命士の視点で社会全体を俯瞰した上で，国民に信頼される診療放射線技師として何が必要かを見極め，それを成すためには何が必要であるかを考え，公益性の追求を念頭に置いた公益社団法人日本診療放射線技師会の運営に努めていく所存です。

3 すぎうら 杉浦 まゆみ 麻由美 54歳

現住所：東京都

- 勤 務 先：読売新聞東京本社 編集局医療部
- 最 終 学 歴：お茶の水女子大学
- 所信・抱負：私は，読売新聞社入社後に医療制度問題などを担当し，医療に関わる情報を社会に発信してきました。その後，私自身が乳がん罹患し，がん体験者としての経験も生かし，厚生労働省がん対策推進協議会委員や文部科学省がんプロフェッショナル養成推進委員などを拝命し医療行政に携わってまいりました。その中で標準医療の推進，がん患者支援などの重要性を説き，いくつかの政策に反映していただいています。診療放射線技師の皆さまの領域におきましても，画像診断や放射線治療の領域で医療に貢献いただいています。国民へ貢献いただける体制を目指されている貴会の役員として，これまでの経歴を生かし微力ではありますが力を尽くしたいと思います。



全国理事候補者（定員11～14人）

（受理順）

えとう よしひろ
1 江藤 芳浩 54歳

所属：（公社）大分県放射線技師会

■ 勤 務 先：医療法人慈恵会 西田病院

■ 最 終 学 歴：熊本大学医療技術短期大学部 放射線技術学科，大分大学大学院 医科学研究科 修士課程（医科学）修了，大分県立看護科学大学大学院 博士後期課程（健康科学）在学

■ 本会役員歴：理事（2期），副会長（1期：現職）

■ 所信・抱負： 前期は地域理事と副会長を兼任させていただきました。お力添えを頂きました会員各位に心より感謝を申し上げます。

さて、働き方改革によるタスク・シフト/シェアによって、限りある人的資源を有効に活用する職種間の業務共有が進められています。そうした中、診療放射線技師に求められるのは、その確固たる専門性を改めて国民に示すと同時に、診療用放射線の最適化等業務の他に医療者として患者に何を提供することができるのかを考えることだと思います。一方、今後は少子高齢化（人口減）やAI・IoTなどの活用によって診療業務が縮減する反面、診療放射線技師は年々増加していくという問題を抱えているといわれています。こうした複雑に絡む諸問題に対して将来を見据え、地区技師会はじめ放射線関連団体などと連携しながら、業務の在り方を議論していく必要があると考えております。

診療放射線技師の将来のため使命感を持って会務にまい進する所存です。何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

え ばた きよかつ
2 江端 清和 56歳

所属：（公社）福井県診療放射線技師会

■ 勤 務 先：公益社団法人 日本診療放射線技師会

■ 最 終 学 歴：福井大学大学院 医学系研究科 先端応用医学専攻 修了，博士・医学 学位記番号：医博・甲第493号

■ 本会役員歴：理事（1期：現職）

■ 所信・抱負： 財務を担当させていただき1期を過ごすことができました。この間、上田会長の指示による会費の値下げという大きな変革に取り組むことができました。また昨年は学術大会開催地区への貸付金から補助金への変更，講習会・セミナー受講料をペーパーレス・クレジット決済に移行したことで開催当日の会費収納状況の確認が容易にできたことなど，多くの変革に携わることができました。

2021年度第3回理事会でご承認いただいた未収会費の債権回収委託は，JARTだけではなく各地区技師会の財政状況健全化と会員の費用負担の公平感のためにも，大きな役割を果たすものと思います。

前回立候補時にも述べさせていただきましたが，若者たちが診療放射線技師という職業に魅力を感じられるような職業であるために力を尽くしたいと考えます。

まだするべきことがあると感じています。ぜひとも引き続き日本診療放射線技師会に活動の場を与えていただきますようお願いいたします。



なかむら やすひこ
3 中村 泰彦 64歳

所属：(公社) 福岡県診療放射線技師会

- 勤 務 先：純真学園大学 保健医療学部 放射線技術科学科
- 最 終 学 歴：九州大学医療技術短期大学部 診療放射線技術学科
- 本会役員歴：理事（1期：現職）

■ 所信・抱負： 私は1988年4月より社団法人福岡県放射線技師会常務理事，副会長を経て2014年5月に会長になり地方技師会活動を長年務めてきました。また2016年7月には福岡県医療団体協議会会長として県内の関連団体（看護，検査，栄養士，放射線）と連携を取りながら地域医療の活性に取り組んできました。

2020年6月から日本診療放射線技師会理事として，人材育成委員会委員長，臨床実習指導教育委員会委員長として活動し事業を行ってきました。また放射線機器管理士分科会長として診療放射線技師の放射線関連機器の保守管理の重要性について啓発ならびに活動し，診療報酬改定などに結び付くなどの成果を上げさせていただきました。

引き続きこれまでの経験を生かして，分科会活動や都道府県技師会と日本診療放射線技師会との連携をスムーズに進めるように全国理事に立候補しました。どうぞご支援いただきますようお願い申し上げます。

うえだ かつひこ
4 上田 克彦 62歳

所属：(一社) 山口県診療放射線技師会

- 勤 務 先：国際医療福祉大学 成田保健医療学部 放射線・情報科学科
- 最 終 学 歴：九州大学医療技術短期大学部 診療放射線技術学科，学士（保健衛生学）学位授与機構第1940号
- 本会役員歴：会長（1期：現職）

■ 所信・抱負： 2020年6月に会長に就任し，皆さまのご協力によりましてさまざまな事業を推進させていただきました。昨年の診療放射線技師法改正に伴う告示研修実施におきましては，新型コロナウイルス感染症まん延の中，都道府県（診療）放射線技師会の皆さまの多大なるご協力を頂き開催のご準備ができました。私は，会長就任時の目標の一つとして関連団体との協調を掲げ，結果として放射線診療に関係する団体・学会・省庁との連携強化を推進することができました。来期もさらに連携を進め，診療放射線技師の存在感を高めてまいります。今期は放射線科専門医の先生方との連携によって，「読影の補助」においては「STAT画像報告」としてご指導いただく体制ができましたので，さらに推進したいと考えております。省庁との連携についても哇元将吾衆議院議員と協力し政策に反映させたいと思います。来期も国民から信頼される日本診療放射線技師会運営を進めます。今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。



5 こだま なおき
児玉 直樹 46歳

所属：(一社) 新潟県診療放射線技師会

- 勤 務 先：新潟医療福祉大学
- 最終学歴：鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 放射線技術科学科，長岡技術科学大学大学院 工学研究科 情報・制御工学専攻修了，博士（工学）
- 本会役員歴：理事（7期），副会長（1期：現職）
- 所信・抱負： 2006年度から日本診療放射線技師会の理事として主に学術教育と国際を担当し，2020年度からは副会長として告示研修を担当してきました。2022年度・2023年度の2年間で，私は次の3点について主に活動していきたいと考えています。(1) 告示研修のスムーズな実施と運用 (2) 診療放射線技師養成教育の充実と高度医療に貢献できる優れた診療放射線技師の育成 (3) 世界放射線技師会加盟国との交流と発展途上国への教育支援——です。これらの活動に関する情報は会員向けに積極的に公開し，会誌やホームページのほか，SNSなどを通じて伝えていきたいと考えています。また若い診療放射線技師が積極的に日本診療放射線技師会に関与できるような環境を構築し，活躍できる場を提供していきたいと考えています。会員の皆さまのご支援とご協力をお願い致します。

6 あ そう ともひこ
麻生 智彦 56歳

所属：(公社) 東京都診療放射線技師会

- 勤 務 先：国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院
- 最終学歴：駒澤短期大学 放射線科
- 所信・抱負： 日本診療放射線技師会の会務には，診療報酬対策・放射線検査説明・人材育成・医療画像管理などの委員会や分科会を通して診療放射線技師の在り方，職域の拡大，雇用促進に参画してきました。
皆さまご承知の通り，近年，医療法や技師法をはじめとした関連法令の改正などがあり，診療放射線技師を取り巻く社会情勢と環境が大きく変容してきております。とりわけ，診療放射線技師免許については，しっかりと取り組み軸足とかじを取ることが肝要と思っております。そのためにも，会員の皆さまの声に寄り添い，くみ取り，一致団結できる組織の理事として誠心誠意の精進をする所存でございます。
また一方で，他医療職，福祉職団体との連携・連結も不可欠と心得ており，職域を越えた横断的な会務についても取り組んでいきたいと思っております。
ぜひ，皆さまのご支援を賜りたく，よろしくお願い申し上げます。



7 たかはし としゆき
高橋 俊行 53歳

所属：(公社)神奈川県放射線技師会

- 勤 務 先：昭和大学横浜市北部病院
- 最 終 学 歴：首都大学東京 人間健康科学研究科 (前期) 修士 (放射線学)
- 所 信 ・ 抱 負： このたび、2022年度・2023年度の全国理事に立候補致しました高橋俊行と申します。2009年より学術教育委員会委員を務めてまいりました。取り組んでまいりましたのは、生涯教育に関わるクリニカルリーダーとマネジメントリーダーを活用した新しい生涯教育システムへの移行に関する事業です。本会は、職能団体としてさまざまな事業展開が行われてきてはおりますが、私としては診療放射線技師の将来を左右する生涯教育制度の改正は、早急に対応が必要な重要課題の一つとして、来期には皆さまにフィードバックできるものと考えております。また診療放射線技師が「タスク・シフティング」を他職種と共に推進していく中で、診療報酬として認められるための事業が大切だと感じております。今回、全国理事に立候補させていただき、会員の方々に還元できる事業を立案・実施してまいります。まだ研鑽^{けんさん}中な私ではありますが、皆さまのお役に立てるよう頑張らせていただきます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

04

8 とみた ひろのぶ
富田 博信 51歳

所属：(公社)埼玉県診療放射線技師会

- 勤 務 先：埼玉県済生会川口総合病院
- 最 終 学 歴：鈴鹿医療科学大学大学院 博士 (医療科学)
- 本会役員歴：常務理事 (1期)、理事 (4期)、副会長 (1期：現職)
- 所 信 ・ 抱 負： 2020年より新執行体制になり、発足時より事務所移転担当副会長として、コロナ禍での事務所の在り方について検討し、賃借床面積の縮小を提案することで、本会事務所固定費用削減を原資とした会費の値下げにつなげました。また前回、理事選挙の抱負で述べた通り、会誌Web配信の試験運用を開始させ、2022年春には、足掛け5年にわたり準備してきた本会英語誌のPMCへの申請を行う予定です。2021年5月には、新たにJART-JSRT協力体制推進特別委員会が発足し、日本放射線技術学会とのさらなる協力推進体制の検討が始まりました。委員会において2024年秋にJSRTとの合同学術大会開催を提案し、双方の理事会で承認されており、次年度以降開催に向けた準備を加速してまいります。次年度も「対話と協調」を念頭に置き、関連他団体との連携強化に努めたいと思います。引き続き、会員目線に立った事業を展開し、本会の発展に寄与したいと考えております。皆さまのご支援、どうぞよろしくお願ひ致します。



なかむら と き こ
9 中村 登紀子 42歳

所属：(公社) 静岡県放射線技師会

- 勤 務 先：順天堂大学医学部附属静岡病院 放射線室
- 最 終 学 歴：京都医療技術短期大学 診療放射線学科，修士（開発学） 日本福祉大学大学院 国際社会開発学専攻
- 所 信 ・ 抱 負： 2022年度・2023年度全国理事に立候補した中村登紀子と申します。
医療現場はモチベーションに欠ける雇用環境や不十分な人材育成が問題の一つとなっています。患者さんが求める医療の質や価値の向上を裏付ける診療放射線技師のワーク・ライフ・バランスや、キャリア設計を最大限重視した「持続可能なシステム」の構築が求められますが、私たちの自己犠牲が前提であってはならないと考えています。今後、どのように学び、働き、人生設計を立てていくかという観点から、現状を見直すことが必要であり、本会もさらに柔軟かつ進歩的な組織への移行が必要ではと思っています。
私のこれまでの経験（結婚，出産・育児，転職や大学院進学など）を踏まえ、会員一人一人の目線で問題点を見つめ、会員が社会や職場で自分の役割を果たし、患者さんのための医療の提供ができる手助けをしていきたいと考えています。皆さま、どうぞよろしくお願い致します。

かわもり た りゅう
10 川守田 龍 50歳

所属：(公社) 大阪府診療放射線技師会

- 勤 務 先：社会医療法人きつこう会 多根総合病院
- 最 終 学 歴：近畿医療技術専門学校，博士（医学） 近畿大学大学院 医学研究科 医学物理学専攻
- 所 信 ・ 抱 負： このたび、(公社) 大阪府診療放射線技師会より推薦を受け、(公社) 日本診療放射線技師会 役員選（全国理事）に立候補させていただくこととなりました。私は、放射線治療分科会の委員を1年間、分科会長を拝命して4年間、本会の活動に取り組んでまいりました。またアジア各国との放射線治療シンポジウムの開催においてMOU締結により、国際委員としても海外との連携、国内の放射線治療関連団体との協調を図ることに重点を置いて活動してきました。
その背景には、国内における放射線治療に関する案件はJASTROが中心となってJART以外の関連団体とさまざまな取り組みなどの議論がされており、JART（治療分科会）とのコミュニケーション不足が垣間見られたためです。放射線治療においては、他職種とのチーム医療が成り立ってこそ、質の高い高度な放射線治療を国民に対して提供することができます。今後は、放射線治療に限らず、常に本会の情報発信と情報共有を会員および関連団体と行い、本会の発展に貢献したい所存です。



11 きくち 菊地 かつひこ 克彦 56歳

所属：(公社) 東京都診療放射線技師会

- 勤 務 先：公益社団法人 地域医療振興協会 東京北医療センター
- 最 終 学 歴：中央医療技術専門学校 診療放射線学科，放送大学 教養学部（生活と福祉専攻）
- 本会役員歴：常務理事（3期）
- 所信・抱負： このたび，2022年度・2023年度の全国理事に立候補しました菊地克彦です。

2004年から常務理事として学術教育部門で生涯学習を3期6年担当し，退任後も学術教育委員・広報委員・放射線機器管理士分科会委員として日本診療放射線技師会事業に関わってきました。

少子高齢化が急速に進み，医療の質・量，効率などニーズに合わせた医療提供体制の対応が求められています。労働力人口の減少も課題として挙がり，これからは医療の確保も問題となります。生涯使えるわれわれ診療放射線技師の資格がさらに有効活用できるよう環境整備を推進し，診療放射線技師として国民により良い医療提供をすることで皆さまと一緒に社会貢献したいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

04

12 さとう 佐藤 はるみ 晴美 60歳

所属：(一社) 山形県放射線技師会

- 勤 務 先：山形県立河北病院
- 最 終 学 歴：中央医療技術専門学校
- 所信・抱負： このたび，2022年度・2023年度全国理事に立候補しました，佐藤晴美です。

現在は，一般社団法人山形県放射線技師会の代表理事を務めております。

女性を取り巻く環境は，1986年の男女雇用機会均等法を契機に，育児介護休業法，女性活躍推進法が施行され，近年は「女性が輝く社会」として政策が進められています。しかし，男女共に子を育て，慈しみ，家族の介護に当たり，さらに自己実現を図っていくことが当たり前の世の中になったとはいえません状況であります。

ワーク・ライフ・バランスの多様な働き方を可能にしていくためには，職場のマネジメントなども変革していく必要があります。

また離職した技師のスキル維持向上や，会員が生涯，診療放射線技師として働けるよう支援する体制づくりが本会に必要と考えます。

会員が職場や社会での自分の役割を果たし，将来展望を拓く手助けをしたいと考えております。

皆さまのご支援とご協力をよろしくお願い致します。



そのだ まさる
13 園田 優 46歳

所属：(一社) 千葉県診療放射線技師会

- 勤 務 先：聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院
- 最終学歴：藤田保健衛生大学，学士（保健衛生学） 学位授与機構 藤田保健衛生大学 放第337号
- 所信・抱負： 2022年度・2023年度の全国理事に立候補致しました園田優と申します。私は本会の総務委員としての9年間の活動を通して、日本診療放射線技師会は唯一の職能団体として会員の地位向上のため、および公益社団法人として国民に安心・安全な医療を提供するためにあると感じました。
事業継続するためには日本診療放射線技師会の役員，事務，そして地域の放射線技師会，養成校などがお互いに尊重・協同し，関係を強固なものにすることが必要と強く感じています。私は役員と事務，地域の技師会とのつながりをさらに強固にし，診療放射線技師という職種が多くの国民に認められ，やりがいを持って業務ができる環境を目指し，本会を盛り上げていきたいと思ひます。
まだ経験も浅く未熟者ですが，皆さまのお役に立てるよう頑張つてまいります。よろしくお願い申し上げます。

おおの はじめ
14 大野 肇 62歳

所属：(一社) 北海道放射線技師会

- 勤 務 先：市立旭川病院 中央放射線科
- 最終学歴：北海道大学医学部附属診療放射線技師学校
- 本会役員歴：理事（1期：現職）
- 所信・抱負： これまで2年間，全国理事を務めさせていただきました。その間，入会促進委員会として，養成学校の卒業生向けの入会促進パンフレットの企画・作成を行いました。また北海道内のみではありますが，養成学校卒業生に対し，今回の法律改正・告示研修についての説明を行い，併せて日本診療放射線技師会の紹介を行つてまいりました。
日本診療放射線技師会の収入源は会費収入が主であり，安定的な運営を行うためには会員数の増加が必須であります。また日本診療放射線技師会の入会者数を増加させ，組織率を向上させなければ職能団体としての認知度を向上させることは困難となります。
これからは養成学校の卒業生のみならず，養成学校の学生に対しては入学時からのアプローチが必要であると考えます。また未入会の診療放射線技師に対する入会促進事業についても立案したいと考えております。皆さまのご支援をよろしくお願い致します。



監事候補者（定数3人）

会員監事候補者

（受理順）

お が わ と し ま さ
1 小川 利政 72歳

所属：（公社）大阪府診療放射線技師会

- 勤 務 先：大阪物療大学
- 最 終 学 歴：放送大学大学院 修士課程修了
- 本会役務歴：理事（2期），副会長（1期），監事（4期：現職）

お が わ き よ し
2 小川 清 70歳

所属：（公社）埼玉県診療放射線技師会

- 勤 務 先：群馬パース大学 保健科学部 放射線学科
- 最 終 学 歴：群馬県立福祉大学校 放射線学科，鈴鹿医療科学大学大学院 医療科学専攻修士課程（修195号）
- 本会役務歴：理事（2期），副会長（3期）

会員外監事候補者

う め も と と お る
梅本 啓 60歳

現住所：神奈川県

- 勤 務 先：梅本公認会計士事務所
- 最 終 学 歴：慶應義塾大学 経済学部，公認会計士登録，税理士登録